

大阪府議会の二酸化炭素排出量の診断結果と議員活動等における取組み例

大阪府は、2050年に二酸化炭素排出量を実質ゼロとすることを表明するとともに、2025年大阪・関西万博はSDGs達成への貢献を目標に掲げています。万博の成功を目指す大阪府議会としても地球規模の課題であるカーボンニュートラルに取り組むため、まず、年間どれだけの二酸化炭素を排出しているのか決算額をもとに診断を行いました。【都道府県議会初】今後、この診断結果も参考に、大阪府議会としても取組みを進めていくとともに、各会派・議員一人ひとりが省エネ等環境配慮に関する意識を持ち、具体的な行動を行うことが重要です。記載の取組みは一例です。できることから行動していきましょう。

大阪府議会の二酸化炭素排出量診断結果

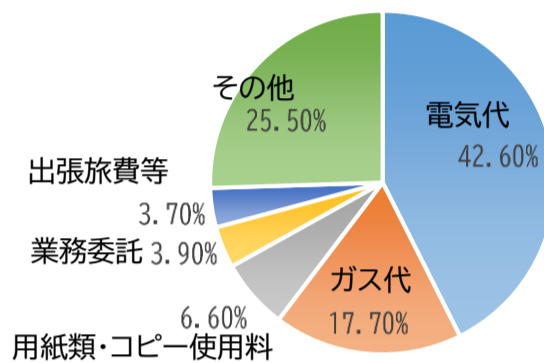
令和2年度のCO2排出量：343.36トン

(令和2年度決算額より算出。人件費等除く。)

参考：民間企業の業種別平均：年間1,001トン
※従業員を150名と仮定した場合
(OSAKAゼロカーボンファウンデーション調)

排出量の多い経費

1. 電気代	146.13 トン	42.6%
2. ガス代	60.70 トン	17.7%
3. 用紙類・コピー使用料	22.55 トン	6.6%
4. 業務委託(議会中継、会議録作成等)	13.30 トン	3.9%
5. 出張旅費等	12.90 トン	3.7%



議員活動や各事務所における取組み例

照明・空調・OA 機器等の適正利用

休憩時間の消灯や空調温度の適正管理(冷房時は28℃、暖房時は19℃)、長時間離席時にはパソコンをシャットダウンするなど、エネルギー消費量を削減しましょう。

再生可能エネルギーの利用

再エネ電気への切替えなど、再生可能エネルギーの利用を促進しましょう。
※府大手前庁舎は、令和3・4年度の電気調達を再生可能エネルギーに変更しています。

照明器具の原則 LED 化

照明器具の更新時は、消費電力の少ない LED 電球に切り換えましょう。

ペーパーレスの徹底

タブレットやモニター等を活用し、ペーパーレス会議を推進しましょう。打合せや情報共有などにおいてもWEB会議やメール等を活用しましょう。

グリーン購入の拡大

「エコマーク」や「大阪府認定リサイクル製品(なにわエコ良品)認定マーク」等の環境配慮認証マークの付いた製品を購入するよう努めましょう。

使い捨てプラスチックの削減

マイボトルの利用やリターナブル容器の使用などにより、会議等でもペットボトルなどの使い捨てプラスチックは使わないようにしましょう。

スマートムーブの促進

徒歩、自転車や公共交通機関など自動車以外の移動手段の選択(スマートムーブ)を進めましょう。

エコドライブの励行

急発進、急加速、無駄なアイドリングをしないなど環境に配慮した運転であるエコドライブに努めましょう。

その他の工夫

上下3階以内の移動は原則としてエレベーターを使用せず、階段を使用しましょう。

ふちょう
温室効果ガス
削減アクション
プラン



ひとりひとりが
できること
ゼロカーボン
アクション30
(環境省 HP)

